

特集：2005年度日本数学会出版賞受賞者のことば

楠葉隆徳氏，林隆夫氏，矢野道雄氏

このたびは出版賞をいただきありがとうございます。まったく予想もしなかったことで、先年 Bakhshali 写本の研究でフランス学士院から賞をいただいた時以来の驚きであり喜びでした。思えばインド数学史の研究を始めてから 30 年近くが経ちました。その間、数学・数学史・科学史・インド学の各分野で先輩や同僚の学恩に浴す幸運に恵まれましたが、特に、学振の奨学金をいただいて Brown 大学大学院の数学史科に留学し、文献学に基づく数学史研究の訓練を受けることができたのは幸運でした。私が Providence にいたのは 79-81 の 3 年間でしたが、当時同科では、Neugebauer, Sachs, Pingree, Toomer たちが活躍していました。その後 AIS の奨学金を得て 1 年間インドでサンスクリット数学写本の調査をしたあと帰国、同志社大学に入社しました。私たち三人が「インド数学研究」につながる共同研究を始めたのはその後しばらくしてからです。研究会は初め隔週に行っていましたが、次第に日程の調整が苦しくなり、月 1 回のペースを保つのがやっとなりました。それでもなんとか続けられたのは、サンスクリットで著された数学書・天文学書と格闘する楽しさに加えて Brown 数学史科で体験した空気を三人が共有していたからではないかと思います。私たちが教わった Pingree 先生がちょうど今年の 6 月に退職されることになったのは残念ですが、このたびの出版賞を励みとして、今後も同科の精神を受け継ぎ文献学に基づく数学史の発展に多少なりとも寄与できたらと思います。

林 隆夫（同志社大学理工学研究所教授）